

クラブ紹介



習字クラブ

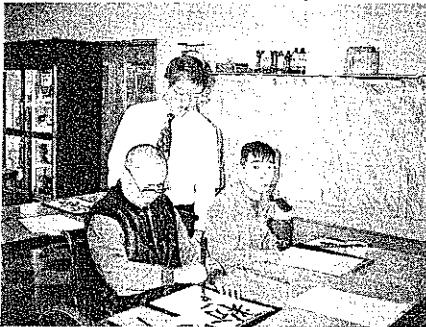
「習字クラブ講師として」
片山 益夫 先生

最初に講師の依頼のお話しをお聞きしました。ある面では、お引き受けして務まるかども不安でございました。

ある面では、お引き受けして務まるかどうか解らないが、自分の力を試してみようと冒険心が胸を躍らせてこのお話しを快よくお引き受けしました。

六十の手習い」と申しますが、習字クラブが発足して四年になります。
最初の頃は、象形文字ならぬ筆運び。しかも墨汁たっぷり顔も手も真黒でした。でも先生や職員の援助の中、今では立派な文字が書ける様になりました。リハビリ訓練の成果もあり、しっかりと筆を持つことも出来、精神を集中する時間もあります。

故郷へお便りなども自筆で書いてみませんか。月二回の習字時間を使楽しみにしています。



講 師 片山 益夫
副 部 長 高橋 道夫
副 部 長 松浦ユキ子
ク ラ ブ メン テ ネ ッ ハ ル
毎月第二・四水曜日

皆さんと一諸に活動をしてみて、障害を乗り越え職員の皆さんのが苦労を乗り越え家族ぐるみで親身に成って活動して居られる

様子を実感しております。

「福祉」と言う、言葉の持つ意味の重さを十二分に受け止め、福祉の一端ではありますが知る事が出来ました。

最後になりましたが、丁度私も昨年皆様のお陰を持ちまして、町の行政の責任者の一員にさせて頂き、一段とその責任の重さを感じております。これからも宜しく御指導御便撻賜わります様お願い致します。

おたより
また遊びにきます

今治明徳短期大学

大森 博志

慣れた頃に実習も終り、僕も四月から社会人と成ります。何かと御迷惑もおかけしました。熱心な御指導、どうも有難うございました。

実際に介護することの大切さ、厳しさを学ぶことが出来、今後の僕に大きな希望と生きがいを感じることが出来ました。実習経験を大切にしてこれから頑張りたいと思います。